

赤坂に“ブランデッド・サービスレジデンス”誕生 アジア初上陸「1 Homes Tokyo」

森トラスト株式会社は、東京ワールドゲート赤坂 赤坂トラストタワー38～43階で展開するサービスレジデンス(※)について、米国発のサステナブル・ラグジュアリーライフスタイルホテル「1 Hotels」(読み:ワンホテルズ)のレジデンスブランド「1 Homes」(読み:ワンホームズ)を冠した「1 Homes Tokyo」としてオープンすることを決定しました。(※サービスレジデンス: 家具・家電・キッチン設備などを備えた賃貸住宅)



「1 Homes Tokyo」住戸例



「1 Homes Tokyo」住戸例

■自然とラグジュアリー、ホテルクオリティが調和する新しい都市居住のかたちを提案

「1 Homes Tokyo」は、ラグジュアリーホテルブランド「1 Hotels」の世界観を住まいへと昇華させたブランデッド・サービスレジデンスです。サステナビリティとラグジュアリーの調和を軸に、自然素材の温もりを生かしたエントランスや共用空間が都心にありながら穏やかで落ち着いた時間をもたらします。38～43階に位置する居住フロアは「1 Hotel Tokyo」と隣接しており、居住者専用のルートでホテルの各種施設(プール、フィットネス、スパ、ダイニングなど)にアクセスできます。プライベートレジデンスとしての快適さを保ちながら、ホテルクオリティのサービスを日常に取り入れた、新しい都市居住のかたちを提案します。

当社は、「1 Homes Tokyo」を通じて、国際都市・東京赤坂における“働く・遊ぶ・住まう”をしなやかに行き来する都市生活者に向けた、新しい暮らしの選択肢を提案してまいります。

■「1 Homes」について <https://www.1hotels.com/homes>

「1 Homes」は、米国 Starwood Hotels(読み:スターウッドホテルズ)が展開するラグジュアリー・レジデンスブランドで、「自然にインスパイアされたラグジュアリーライフ」をコンセプトに掲げています。

現在、米国およびメキシコにおいて合計4軒を展開しており、さらに欧米豪エリアでは合計2軒の新規開業プロジェクトが進行中です。アジア地域での展開は、「1 Homes Tokyo」が初となります。

■「1 Homes Tokyo」について <https://mt-rs.co.jp/1Homestokyo/>

「1 Homes Tokyo」では、専任コンシェルジュが居住者一人ひとりのニーズに寄り添い、きめ細やかなサポートを提供します。ホテルと連携した 24 時間体制のサポートにより、都心にありながら安心と余裕のある暮らしを実現します。ホテルのフィットネスは 24 時間利用可能で、レストランでの食事やプール、ラグジュアリースパ、インルームダイニングなど、多彩なサービスを日常の延長として利用できます。(※一部サービスは有料)

「1 Hotels」由来の自然素材を生かした落ち着いた住環境のもと、上質なホスピタリティに包まれた心地よい毎日をお届けします。

「1 Homes Tokyo」概要

所在地	東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号
住戸フロア	赤坂トラストタワー 38~43 階
総戸数	36 戸
間取り	1R(studio)、1LDK(1bedroom)、2LDK(2bedroom)
専有面積	60 m ² ~93 m ²
入居開始時期	2026 年 3 月
契約期間	1 ヶ月~

■「1 Hotels」について <https://www.1hotels.com/>

1 Hotels は、“自然からインスピレーションを受けたミッション主導型のラグジュアリーライフスタイルホテルブランド”として、持続可能なデザインと建築、卓越した快適性、そして比類ないホスピタリティの融合を追求しています。私たちの住むこの地球は、たった 1 つ = 1 World であり、ブランドの原点には、「世界を旅する人々こそ、その世界を大切にすべきだ」というシンプルな思想があります。

1 Hotels は 2015 年、米・フロリダ州マイアミ・サウスビーチとニューヨーク州マンハッタン・セントラルパークに最初の 2 つのホテルをオープン。その後、2017 年に米・ニューヨーク州ブルックリン(イーストリバー沿い)、2019 年に米・カリフォルニア州ウエストハリウッド(サンセット大通り沿い)、2020 年に中国・三亚、2021 年にトロント(カナダ)、2022 年には米・カリフォルニア州サンフランシスコと米・テネシー州ナッシュビルに展開。2023 年には米・ハワイ州カウアイ島・ハナレイベイにブランドの旗艦ホテルを、またヨーロッパ初となる英国・メイフェア(ロンドン)に開業しました。2025 年には、シアトル、メルボルン(オーストラリア、オセアニア初進出)、コペンハーゲン(デンマーク、北欧初進出)にも開業しました。

また現在、以下の都市にて新規開業に向けた準備が進行中です：

カボ・サン・ルーカス(メキシコ)、パリ(フランス)、エルウンダ・ヒルズ(クレタ島)、オースティン(米・テキサス州)、リヤド(サウジアラビア)、サン・ミゲル・デ・アジェンデ(メキシコ)

一部の施設は、世界的なホスピタリティ評価指標である MICHELIN Key(ミシュラン・キー)の栄誉ある認定も受けています。詳しくは [1hotels.com](https://www.1hotels.com/) をご覧ください。

■「Starwood Hotels」について <https://www.starwoodhotels.com/>

「1 Hotels」ブランドを展開している Starwood Hotels は、世界的な投資会社であるスターウッド・キャピタル・グループの関連会社です。マーケティング、デザイン、運営、技術面での専門知識を活かし、世界中で革新的ホテルを運営しており、「1 Hotels」の他、ラグジュアリーホテル「Baccarat Hotels & Resorts」や「Treehouse Hotels」など持続可能なホテルブランドを運

営しています。

※2025年3月に、「SH Hotels & Resorts」から、現在の社名「Starwood Hotels」に変更しました。

■「東京ワールドゲート赤坂」について

「東京ワールドゲート赤坂」は、東京圏国家戦略特別区域(通称「国家戦略特区」)における国家戦略都市計画建築物等整備事業として認定を受けた、虎ノ門・赤坂エリアの国際競争力強化を推進する大型複合開発プロジェクトです。街区コンセプトに「Next Destination」を掲げ、従業員エンゲージメントの向上に資するオフィスフロアの提供やホテル、ブランデッド・サービスレジデンスの展開を予定しています。加えて、赤坂の地に根ざした歴史文化を発信する施設の開設、大規模緑地の整備などを通じて、ビジネスと観光の両面から、世界と日本をつなげるゲートの機能を担うような拠点づくりを進めております。

街区概要

街区名称	東京ワールドゲート赤坂
建物名称	赤坂トラストタワー、NTT 赤坂ビル、ATT EAST
所在地	東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号(赤坂トラストタワー) 東京都港区赤坂二丁目 17 番 28 号(NTT 赤坂ビル) 東京都港区赤坂二丁目 11 番 7 号(ATT EAST)
敷地面積	約 17,980 m ²
延床面積	約 236,200 m ²

「赤坂トラストタワー」概要

所在地	東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号
敷地面積	約 13,100m ²
延床面積	約 209,000m ²
階数	地上 43 階、地下 3 階
構造形式	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造
用途	オフィス、ホテル、サービスレジデンス、店舗、クリニック、歴史文化発信施設など
着工	2021 年 1 月 15 日
竣工	第 1 期竣工 : 2024 年 8 月、第 2 期竣工 : 2025 年 10 月
事業主	森トラスト株式会社、NTT都市開発株式会社
設計施工者	大成建設株式会社



38F~43F
1 Hotel Tokyo
1 Homes Tokyo

3F、5F~36F
オフィス

1F~3F
店舗、クリニック、歴史文化発信施設

B3F~B1F
車寄せ、駐車場、リムジンバス停留所

「赤坂トラストタワー」外観図

「1 Hotel Tokyo」概要

所在地	東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号
階数	赤坂トラストタワー 38~43 階、1 階、地下 1 階
客室数	211 室
館内施設	レストラン、カフェ、フィットネス、スパ、プール、ミーティングルーム
開業日	2026 年 3 月上旬



「1 Hotel Tokyo」ロゴ



「1 Hotel Tokyo」ロビーラウンジ イメージ

森トラスト株式会社について <https://www.mori-trust.co.jp/>

森トラスト株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:伊達 美和子)は、日本の都心部における大型複合開発や、全国のホテル&リゾート事業を手掛ける総合不動産ディベロッパーです。「不動産事業」「ホテル&リゾート事業」「投資事業(国内・海外)」の3事業を主軸に、国内外52棟のビル・住宅・商業施設(2025年3月時点)と、36ヶ所のホテル・リゾート施設(2026年2月時点)を展開しています。

当社は、都市開発や観光資源となる歴史的建造物を保存・活用したホテル開発などを通じて、日本の国際競争力を高める事業を推進してまいります。